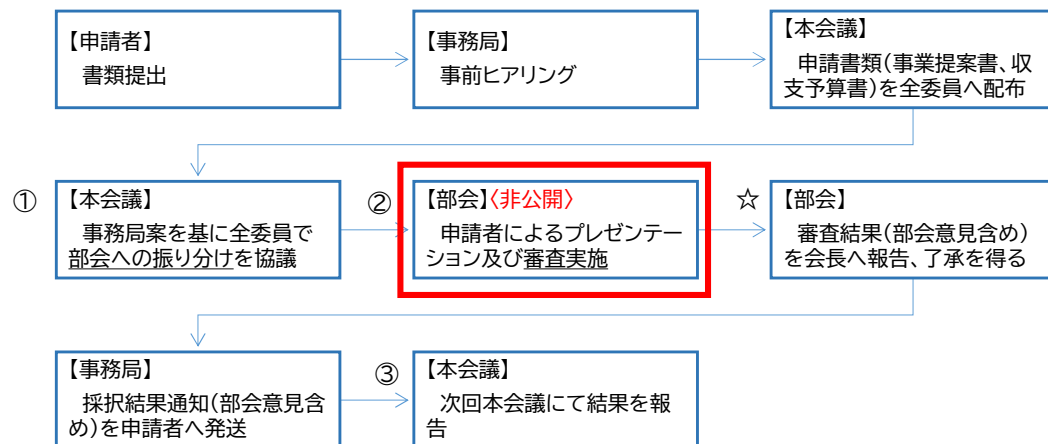


江南区まちづくりサポートプロジェクト審査方法の変更について(7月審査分)

資料 1

2025.7.22
江南区地域総務課
自治協総務特別部会

【これまでの審査方法】 Mission: 審査を自治協委員が実施し、意見を述べられる機会を設ける



【課題】

- ① 提案内容のジャンルに偏りが生じ、部会への均等な振り分けが難航
→(自治協委員の皆さんに審査を経験してもらいたい)
- ② 複数部会で審査をするため、審査基準や評価の解釈にばらつきが生じる



7月審査では、

- ・4事業(各50万円:総額200万円)の申請があり、予算残額を超えたため、相対的評価が必要

【対応方針】

- ・相対的評価(順位付け)が必要となるため、同一人による一括審査を実施
→審査員は、
右記(R8変更(案))のメンバー(各副部会長を除く)をベースに、これまでの審査未経験者を追加
・提案団体の構成員となっていた自治協委員(3名:加藤、笠原、小野)
計10名で実施
→申請団体の構成員に審査員が含まれる場合は、当該案件への審査及び意見交換には不参加とする
なお、本人の申し出により審査を辞退することができるものとする

〈審査状況〉

- ・5月審査 まちづくり部会(1回目)
- ・6月審査 まちづくり部会(2回目)
環境・教育部会(1回目)
安心安全部会 (1回目)

→すべての部会で審査を実施

〈採択状況〉

- ・5月審査 採択:1事業
- ・6月審査 採択:2事業
不採択:1事業

〈採択額〉

3事業計:128.2万円

〈予算残額〉

171.8万円 (3~4事業)

〈R8変更(案)〉

- ・R8.4月 募集開始
 - ・R8.4月末 締め切り
 - ・R8.5月 一括審査
- 審査員は、会長、副会長、各部会長、各副部会長、地域総務課長(計10名)

令和7年度「江南区まちづくりサポートプロジェクト」提案事業一覧

7月審査分

No.	提案団体名	事業名	事業概要	事業費 (千円)	うち、事業委託料 (千円)
1	特定非営利活動法人 はぐハグ	産後女性のレスパイト・ケア （「パパママ銭湯」）及び子育て 世代の自分らしい夢・働き 方を育む事業	A:産後女性のレスパイト・ケア「パパママ銭湯」 内容:既存の温泉施設での乳幼児の一時預かりと育児相談 対象:産後3か月の乳児～産後2年未満の幼児とその保護者 実施回数:2025年9月から2月 月に1回(1月休み)5回 1時間の預かり×2回転 定員:各回 2組 4組(8名)/月 20組(40名)/年 B:子育て世代の「自分らしい夢・働き方」を育む事業 第1回:勅使河原真衣氏『働くということ』講義 第2回:ワークショップ実施 第3回:それぞれの抱える課題(子育て・パートナー関係・自分の仕事)に対して、どのように捉え直し、具体的に行動していくのかを文章として書き出し、小冊子にまとめる。 定員:20名	560	500
2	曾野木地区コミュニティ協議会	曾野木田んぼマラソン大会	小学校のマラソン大会廃止や中学校の部活動が地域移行する中で、 地域の子どもたちを地域全体で育み支援する需要が高まっている。 田園都市としての機能を活かしながら、人と人とのつながりを深め、 地域のつながりをさらに活性化させていきたい。 対象者:小学校1年生から中学校3年生(100名～150名程度)	520	500
3	曾野木地区コミュニティ協議会	「曾野木の文化と伝統を残す」事業	地域の歴史や伝統を通じた芸能文化。コロナ禍での活動者の減少 を、形を変え、大事な物は残し、時代に合わせた変化をもたせ、地域 文化の継承を行う。 ・和楽器の演奏や芸能文化の継承 ・地域伝統の周知、広報 対象者:小学生から社会人	510	500
4	北山自治会	災害に備えた避難準備訓練	避難に時間を要する住民とその支援者が、災害情報の種類を認識 し、指定避難所や一時避難場所、浸水深の浅い安全な場所(北山公 会堂など)の位置を理解してもらうことを目的に、避難訓練を実施す る。 対象者:北山自治会で避難に時間を要する住民40人とその支援者	500	500